

○臨時總會第十六号
東京府下ニ於テ虎列刺病ニ罹リテ者初五日二十日ヨリ
本月七日ト至ルマテ總計五百九十三人内死亡三百六十五
人ニシテ甚々蔓延ノ勢アリ因テ中央衛生會ノ議ヲ據テ
東京府下ヲ流行地ト認定シテ公衆心得ノ爲此旨報告ス
明治十五年七月十日 内務省衛生局
○正誤 本年(六月)東京府乙第六十五號達又中「本日」ハ
本年七月一日ノ誤

叙任賞勳

○六月一日分
叙正六位 松本莊一郎
叙從七位 清水 親威
正八位勳六等 矢田 勝二
同 小野田 廉次郎
同 山 中 鉄太郎
同 村上 半五郎
同 山口 英治
○同月二十一日分
叙從五位 橋口 兼三
叙從七位 音羽 登成
同 根岸 敬
同 新井 善敬

時事新報

生糸荷作ノ脱(前号ノ續)

伊太里産ノ生糸ハ其荷造適宜ニシテ品位モヨク繭ヒ之ガ
爲ニ亞國ノ絹布製造所ニ於テ常用ノ品タルガ故ニ時價ノ
昂低少シ日本ノ品ハ之ニ反シテ昂低甚シ而シテ其昂低ノ
少ナキハ大ニ昂ラザルニ非ズシテ大ニ下ラザルヲナリ之
ニ反スルモノハ大ニ昂ルコト非ズシテ大ニ下リ以テ其差違
ノ大ナルモノト知ル可シ又コノ點ヨリ見テ支那ノ生糸ノ
日本品ノ上ニ位シテ價ノ昂低少ナキハ支那人ノ手ヲ以テ
荷作ヲ巧ムスルニ非ズ支那國ノ貿易場ニ出ル生糸ハ品位
不揃コシテ荷作モ不注意ナルヲ日本品ニ異ナラズ或ハ尙
コレヨリモ甚シキ程ナレハ在支那ノ歐商ガ此粗品ヲ受取
リ歐商ノ手ヲ以テ荷作ヲ改メ品位ヲ期ヘテ之ヲ亞國ニ輸
入スルガ故ナリ支那人ノ不利ヲ知ル可シ支那ノ
ナラズ近クハ我國ノ横濱ニテモ諸西其他ノ商人ハ提作ニ
テモ掛田ノ粗品ニテモ荷作ノ不真ナルガ爲ニ價ノ低キ品
ヲ撰テ之ヲ買取リ一度ヒ之ヲ本國ニ輸入シテ其荷作ヲ改
メ更ニ之ヲ他國ニ輸出スル者アリト云フ日本人ハ勞ス可
キノ手ヲ勞メスシテ其努力ノ利益ヲ他國人ニ占メラレ、
痛ク云フ可シ之ヲ我生糸商ノ耻辱ト云ハル、モ辨スルニ
辭ナカル可シ

左レハ前報ニ述ヘタル如ク我國輸出ノ生糸ヲハ悉皆機械
取ニスル歟又ハ連続機ニスルハ目今ノ急要ナルヲ固ヨリ
論テ俟タズ先リ産線ヲ以テ始メント云フト雖此等事
ヤ合シテ行ハル可キニ非ス合シテ行ハル可キニ非ズレバ産
出地方ノ有者ニテ固リ之ヲ製造スル其際ニ變ニ東京
又ハ横濱ニ便宜ノ地ヲトシテ生糸荷作ノ工場ヲ設立シ各

地方人民ノ奮闘ノマ、ニ輸出セントスルハ一切此
工場ノ荷作ヲ改メ工場ノ設備ヲ修メテ之ヲ輸出
スルノ法ヲ施行シテラハ必ズ彼ノ國市上ノ信譽ヲ
テ漸ク我國産ノ廉價ヲ増シ競争力ノ生糸ノ實ニシテ毎
斤幾十銭ノ廉價ヲ見ルコトヲ期シ此廉價ハ島嶼ノ性質
ニ拘ハラズシテ荷作ノ体裁ヨリ生スルモノナレバ島嶼ノ
巧拙ニ論ナク天然ノ物ハ既ニ形ヲ爲シテ上ニテ價ニ人
力ヲ加フルノ報酬トシテ見ル可キ利益ナリ

國益ヲ起スコト天然ノ産物ヲ以テスルト人爲ノ努力ヲ以テ
スルト其利害得失ハ今コレヲ論スルニモ及ハズ西洋各國
富實ノ基ハ悉皆人力ニ在リト云フモ可ナリ種産ノ道漸ク
盛ナルニ從テ人力ヲ用ルコト漸ク多ク遠ニハ他國ノ天産物
ヲ輸入シテ之ニ人工ヲ加ヘ又隨テ更ニ之ヲ輸出スルニ至
ル可シ佛人ガ支那日本等ノ生糸ヲ輸入シ英人ガ「アメリ
カ」及ヒ印度等ノ綿ヲ輸入シ絹布金巾ノ類ヲ製造シ更ニ
之ヲ他國ニ輸出スルガ如キ是ナリ元來我日本産ノ生糸ヲ
糸ノマ、ニ輸出スルハ種産ノ道ニ於テ遺憾ニ堪ヘザル大
第コレヲ實ハ之ヲ絹布ニ製シテ出スコソ本慮ナレト今日
尙未タ然ルテ得ズ種産家ノ耻ツ可キ事ナラスヤ然リト雖
ハ人工ノ進歩ニハ自カラ其順序時日モアルコトナレバ絹布
輸出ハ前途尙遠トスルモ其絹布ノ材料ニ用ル生糸丈ケ
コトモ適當ニ荷作シテ外國市上ノ輕侮ヲ防キ兼テ我國益
ノ一端ヲ助ルハ有志ノ生糸商ニ於テ當務ノ職分ナラン且
前ニ記シタル如ク方今亞國ニテ日本産ノ品ヲ解テ荷作ヲ
改ルガ爲ニ職工ノ手ヲ費シ其職工ノ賃銀ハ自カラ國ノ物
價ノ高低ニ關スルモノナレバ之ヲ我國普通ノ賃銀ニ比シ
テ甚シキ差違アリ彼ノ國ニテ此高キ賃銀ヲ拂フノ代リコ
其仕事ヲ我國ニ引受ケ荷作改機ノ屑ヲ設ケテ我日本ノ價
高カラザル物ヲ衣食スル職工ヲ使用スルキハ其利益タル
ヲ論テ俟タズシテ明ナリ唯ニ公利國益ノモナラズ其當局
者ニ於テモ私利潤滑カラザルコトナラン云々

雜報

○射的天覽 昨日の茶會中ハ射的天ノ趣ヲ以テ
の序幕もななく午前九時開演ニシテ午後九時閉演ニシテ
夕陽射の幕(行幸射)ニ於テ射的天ノ趣ヲ以テ